

わがまちふらっと探検記 (3)

今月号は下津井地区をご紹介します。

下津井は、大正地区の北に位置し、大正総合支所より国道四三九号線を北へ約十九キロメートル、津賀ダム湖（梶原川）沿いにあり、人口は百十二人、世帯数は四十六戸の集落です。



「めがね橋」
津賀ダムの湖畔に映る姿が眼鏡のように見えることからこう呼ばれています。

この地区に到着すると、まず目に入るのが、つたの絡まる風情ある姿の、通称「めがね橋」。県の近代化遺産にもなっています。国有林の木材を運搬していた森林軌道跡で、現在は津賀ダムから下津井までの「ウオーキングトレイル」（散策道）として整備されています。また、この「ウオーキングトレイル」には当時のトンネルが現存し、道沿いに



「下津井温泉」
梶原川を眼下にみる小さな宿。「平家の里」とも呼ばれる。近隣の人たちが、仕事の疲れを癒しに来る家庭的な雰囲気の魅力の温泉です。泉質は硫化水素で関節炎、疲労回復、皮膚病などに効果があります。



6月時期にはダム湖畔一面にホタルが乱舞する

は展望台や「昆虫の森」もあり、ダム湖を眺めながらの散策は心身を癒してくれます。

自然豊かなこの地域は、「ホタルの名所」としても有名で、六月時期にはダム湖畔一面にホタルが乱舞し、幻想的な光景を生み出します。毎年「平家の里ほたるまつり」が開催され、遊覧船に乗って鑑賞することが出来ます。ダム湖には、ヘラブナ

や鯉が生息しシーズンには多くの釣りファンが訪れます。

十一月二十五日、「仁井田神社」大祭が開催され、神社では伝統行事の花取り踊りが披露されました。地区の若者たちが、牛鬼を担ぎ田んぼの中や、斜面を駆け上がりながら、集落の各戸を回ります。今年は、「めがね橋」は渡りませんでしたでしたが、町内外から楽しみにしている見物客が訪れにぎわっていました。



地区の若者たちが牛鬼を担ぎ各戸を回る



伝統行事の花取り踊り

町の人口

(11月1日現在)	
男	9,946
女	11,078
計	21,024
世帯数	8,814
平均年齢	男性・48.0
	女性・52.8
	全体・50.5

四万十町ホームページアドレス
「<http://www.town.shimanto.lg.jp/>」

12月に入り、ますます寒くなってまいりました。ふらっと探検記で紹介していますが、先日、下津井の「仁井田神社」大祭に行きました。着いたときにはすでに牛鬼が出発した後。地元の方に聞き、急いで後を追いました。ちょうど「めがね橋」付近の家で休憩中（集落をノ軒ノ軒回り、担ぎ手に一息を休めながら振舞われるそうです）。待っていると、どうも今日は「めがね橋」は通らない様子。「めがね橋」を渡る牛鬼は終にならなく、毎年、渡って欲しいという要望もあり、これを楽しみにしている見物客もいます。

写真撮影しながら、牛鬼に連れて行かれそうになりながら、後を追い歩いていのですが、写真もビデオカメラも持った見物客も一掃に走り、歓声を上げたり、途中地元の方と話をしたり、撮影をしながら楽しんでいました。神社では「花取り踊り」が披露され、子どもたちも参加し伝統行事を取り上げたりしている学校もあると聞きます。この地区に限らず、大切にしたいと思っています。まだまだ寒いですが、また行きたいなと思わせてくれる「神祭」でした。

(あ)

編集後記

No.9